

# 図書館だより

## Library Letter

第 32 号

2007.4.17



### ウェブから図書の購入リクエスト！

昨年図書館システムが更新し、新しいサービスとして「MyLibrary」の運用が始まりました。「MyLibrary」とは、インターネットを通じてアクセスできる情報等を整理しておける利用者別のウェブ上の図書館です。「MyLibrary」から、借りている資料の確認、購入希望図書の申込み、文献複写の申込み等の図書館サービスも利用できます。今回は購入希望図書の申込みについてご紹介します。

#### 1. まずは、「MyLibrary」の利用申請をしよう。

利用申請書に記入の上、学生証（または身分証）を添えてカウンターに提出してください。ID とパスワードを発行します。利用申請書は図書館で配布しています。図書館ホームページの「申込書ダウンロード」からプリントアウトすることもできます。

#### 2. どこで利用できるの？

インターネットに接続しているパソコンであれば、学内、学外を問わずどこでも利用できます。図書館ホームページの  をクリックしてください。

#### 3. 「購入希望図書【申込】」の利用手順（「購入希望図書申込」は学生向けサービスです。）

①ログイン後、MyLibrary の画面から「購入希望図書【申込】」をクリックします。



The screenshot shows the MyLibrary website interface. The top navigation bar includes the title '帝京科学大学附属図書館MyLibrary' and a 'Logout' button. The main content area is divided into several sections:

- 図書館からのお知らせ** (Library News): Lists various journals and archives.
- 図書館サービス** (Library Services): A menu with options like 'OPAC (Book Search)', 'Check out/Confirm', 'Document Request/Reply', 'Purchase Request (Circled)', 'Request for Document Copy', and 'Change Password'.
- SDI: 新着図書アラート** (SDI: New Book Alerts): A section for alert management.
- 電子ジャーナル** (Electronic Journals): A section for journal access.

The '購入希望図書【申込】' (Purchase Request) option in the 'Library Services' menu is highlighted with a red circle, indicating the target of the tutorial.

②図書の情報を記入します。「タイトル」「出版社」「希望理由」は必須です。

**購入希望図書申込**

- 希望理由は、なるべく詳しく記入してください。無記入の場合は受け付けできません。
- 購入の可否は、図書館で検討の上決定し、お知らせします。
- 必要項目を入力し、申込ボタンをクリックしてください。

● 氏名: 科学 花子  
● 所属: メディア情報システム学科  
● 購入の可否、入荷した際の連絡先:  
 連絡不要  
 E-MAIL:

● 優先貸出有無:    
● 購入希望図書(\*)の付いた項目は必須です)

ISBN:  半角でハイフンをとって入力してください。  
**タイトル\***:   
シリーズ:   
版表示:   
著者名:   
**出版社\***:   
出版年:  半角で入力してください。  
価格:  円 半角で入力してください。  
冊数:   
書店等のカタログNo.:   
**希望理由\***:

③「申込」ボタンをクリックします。購入の可否は検討の上決定し、ご連絡します。

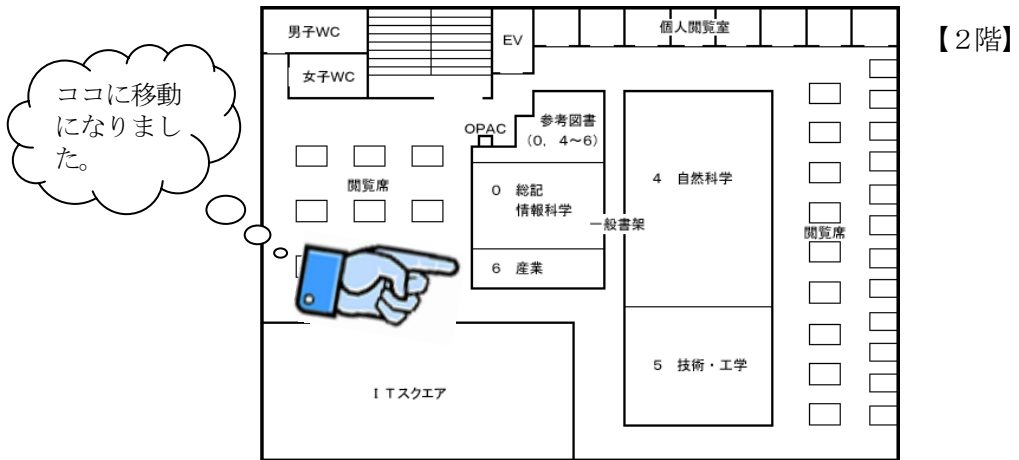
著者名:   
出版社\*:   
出版年:  半角で入力してください。  
価格:  円 半角で入力してください。  
冊数:   
書店等のカタログNo.:   
希望理由\*:

■■■■■ 2007年新規購読雑誌について ■■■■■

本学医療科学部の開設に伴い、下記の22誌を新規購読することになりました。

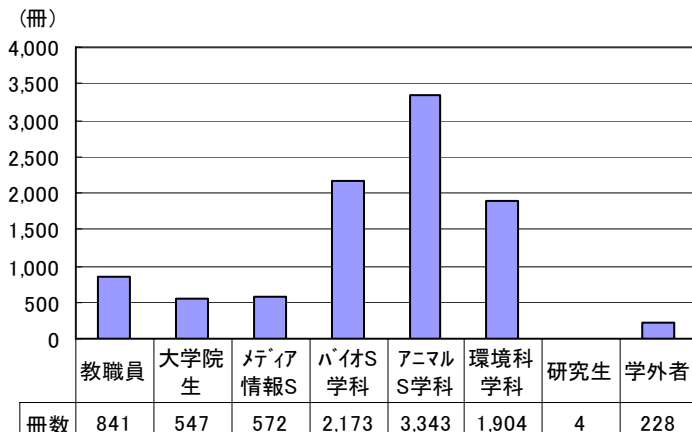
『Archives of Physical Medicine and Rehabilitation』 『British Journal of Occupational Therapy』 『Physical Therapy』 『Geriatric Medicine (国内雑誌)』 『月刊総合ケア』 『Journal of Clinical Rehabilitation(国内雑誌)』 『季刊社会保障研究』 『高次脳機能研究』 『Monthly Book Medical Rehabilitation (国内雑誌)』 『脳と発達』 『理学療法ジャーナル』 『臨床作業療法 (旧：精神認知と OT)』 『臨床整形外科』 『臨床精神医学』 『臨床スポーツ医学』 『作業療法ジャーナル』 『整形外科』 『精神医学』 『神経内科』 『心身医学』 『総合リハビリテーション』 『Training Journal (国内雑誌)』

■■■ 2階の産業・畜産学関連の図書(NDC：600番代)を移動しました ■■■



■■■■■ 平成18年度 図書館利用統計 ■■■■■

身分別貸出冊数



入館者数：108,538名  
貸出冊数：9,612冊

## 「南極で年とペンギンをとった話」

アニマルサイエンス学科准教授 森 貴久



今年の正月は南極で迎えた。あるいは韓国で迎えたといってもいい。ヒゲペンギンの調査のために南極にある韓国の世宗基地で迎えたのだ。正月は何か特別なものが食える

だろうと期待していたら、年越しの晩はパーティだったのに、明けて元旦はただの休日の朝だった。韓国では旧正月を祝うけれど、元日は最初の日ということ以上にはめでたくないらしい。ただ、韓国では満年齢ではなく数えで年齢を扱うので、元日にはみなが一斉に年をとるのだそう。じゃあ誕生日は何だと尋ねると、誕生日は誕生した日だという答えだった。たしかに誕生した日と年をとる日が同じである必然性はない。

こういう年の取り方は年長者を絶対的に敬う儒教文化と関係するのではないか。というのは、誕生日ごとに年をとるとなると、たとえば同じ学年だったとしてもそのなかで日々上下関係が生じたり解消されたりすることになるが、数えで皆が一斉に年をとればそういう不自然さはなくなる。この説は私の友人が

語っていたが、なるほどそうかもしれない。

ペンギンも正月をとくに祝うことをしないから、私（と同僚の2名の研究者）は元日も2回調査地に行き、20羽の雛の体重を測って2羽の成鳥を捕獲した。ヒゲペンギンの捕獲はすこぶる簡単で、巣にいる個体につかつかつと近づいていって、ぎゃあぎゃあ鳴きながらくちばしでつつこうとするのを無視してむんずと掴めばそれでしまいである。なんぼでも捕まえられる。いいのか、というくらい。捕獲したら10分くらいかけて計測や機器の装着・回収を行ってから巣に戻すのだが、巣の近くで放すと、捕獲されていたことなど忘れたかのように胸を張って意気揚々と巣に戻って行く。これまたいいのか、というくらいである。まあいいだろうなたぶん。

調査を終えて帰国したのは今年の1月31日16:30ごろだった。韓国基地のあるKing George島を発ったのは日本時間の1月29日9:30ごろだったから、55時間あれば南極から帰ってこられる。じつは南極はそういう場所だったりする。地の果てではない。もっとも地球は丸いから、地球上に地の果てというのは存在しないのだが。

\* \* \* \* \*

## 蔵書点検を実施しました

平成18年度も夏期と春期休業期間中の一定期間を休館して蔵書点検を行いました。その結果12冊の行方不明図書があることがわかりました。点検期間中は皆様にご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

帝京科学大学附属図書館

山梨県上野原市八ツ沢 2525

TEL 0554-63-6914

FAX 0554-63-4432

E-MAIL library@ntu.ac.jp

http://www.lib.ntu.ac.jp:8080/

発行 2007年4月17日